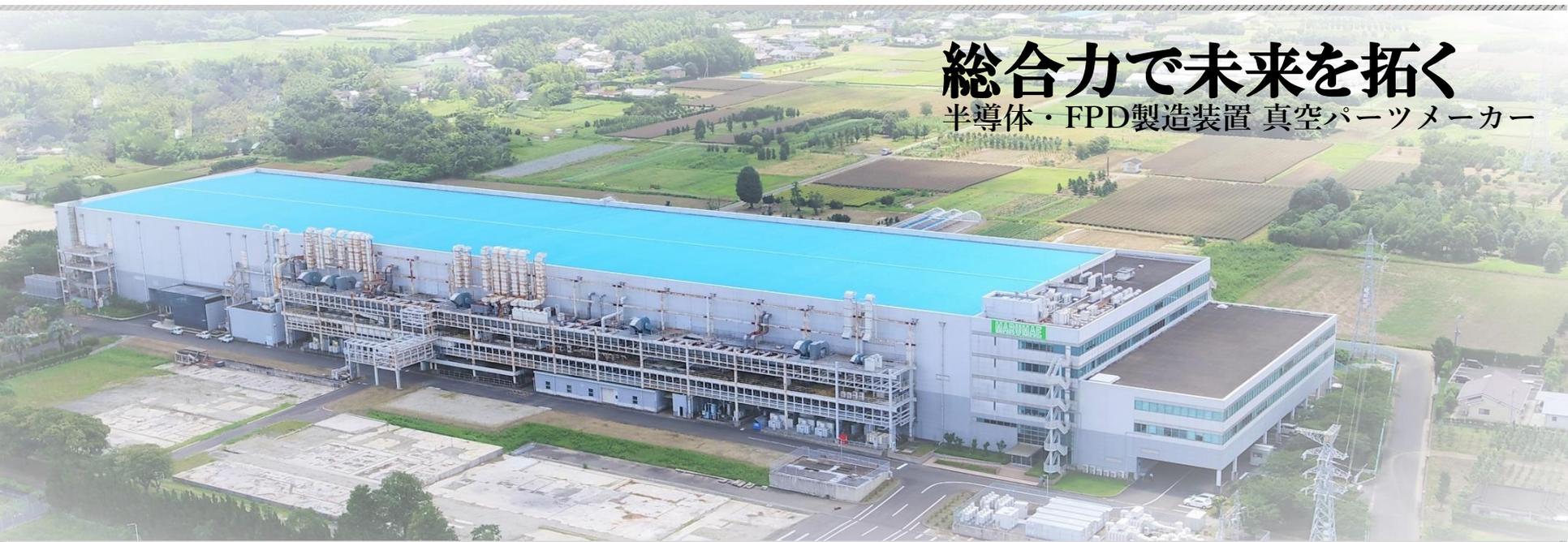


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2022年8月期 第2四半期決算 補足資料

2022年3月30日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2021年8月期 第2四半期累計期間		2022年8月期 第2四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高 ※	2,526	—	4,893	—	93.7
受注残高 ※	1,077	—	2,819	—	161.8
売上高 ※	2,299	100.0	3,962	100.0	72.3
売上原価 ※	1,588	69.1	2,413	60.9	51.9
売上総利益	710	30.9	1,548	39.1	118.0
販売管理費	286	12.5	373	9.4	30.5
営業利益	424	18.4	1,175	29.7	177.1
経常利益	422	18.4	1,171	29.6	177.2
特別損益	0	0.0	△0	0.0	△804.1
当期純利益	294	12.8	837	21.1	184.3
EPS (円)	23.01	—	65.40	—	

Point

①受注状況 ※

- 半導体分野：3,731百万円
(対前年同期：87.7%増)
- F P D分野：1,014百万円
(対前年同期：157.0%増)
- その他分野：147百万円
(対前年同期：2.6%増)

②売上高 ※

- 対前年同期72.3%の増加
(分野別の詳細は次頁)

③売上原価 ※

- 材料費 ※：341百万円増加
(対前年同期：109.2%増)
- 外注加工費：357百万円増加
(対前年同期：131.2%増)
- 労務費：226百万円増加
(対前年同期：45.4%増)
- 減価償却費：43百万円増加
(対前年同期：15.8%増)

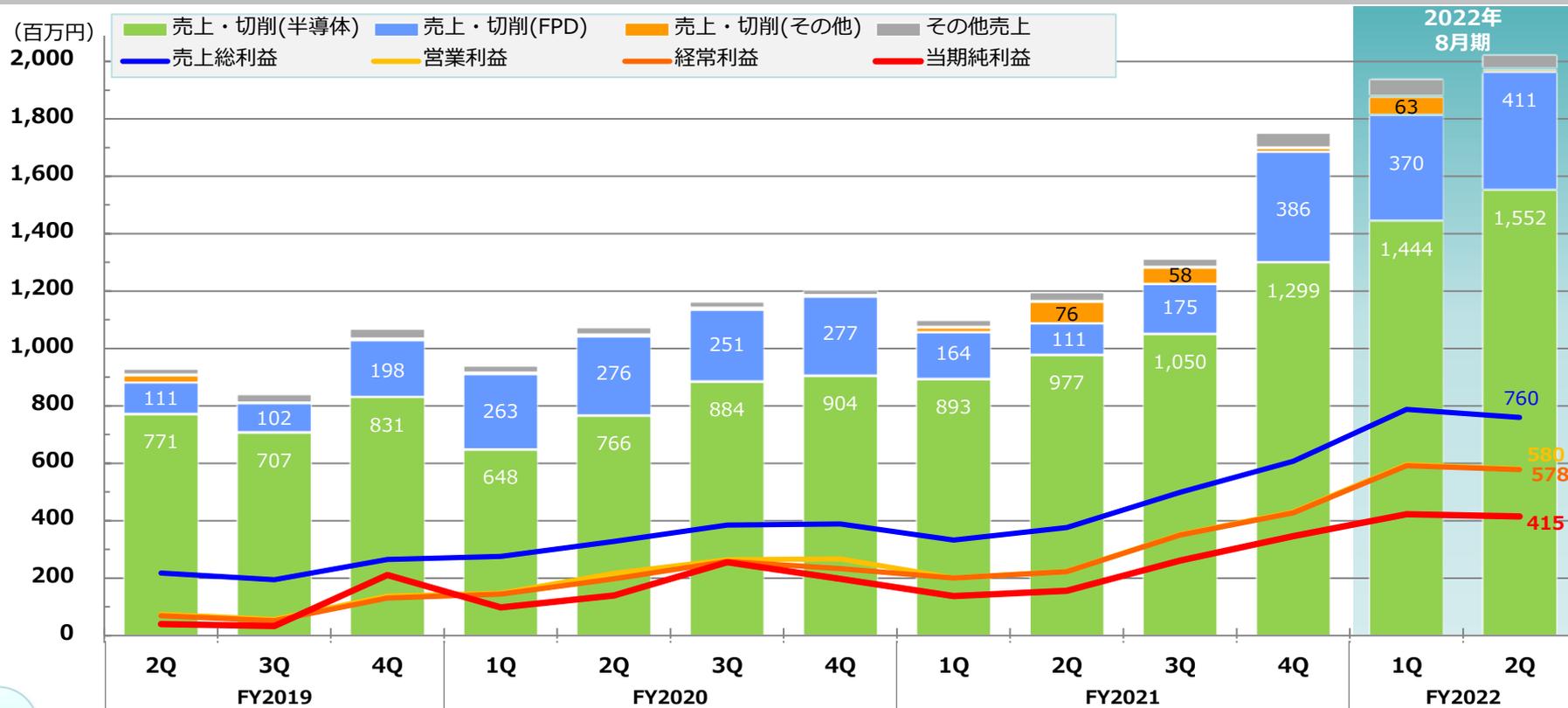
④販売管理費

- 研究開発費：50百万円増加
- 販管人件費：28百万円増加

※ 2022年8月期第2四半期累計期間の受注高および受注残高には、有償受給材分が含まれております。同売上高、売上原価および材料費の対前年同期増減率については、「収益認識に関する会計基準」等を適用する前の前年同四半期の実績値を基に算定しており、次頁以降も同様に算定しております。

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野過去最高でFPD分野も好調

- 半導体分野：2,996百万円（対前年同期：60.2%増）
 - ・半導体分野は市場環境良く四半期過去最高更新
- FPD分野：781百万円（対前年同期：183.4%増）
 - ・市場改善とシェア拡大で四半期過去最高更新

- その他分野：73百万円（対前年同期：22.6%減）
 - ・太陽電池製造装置部品の受注が増加

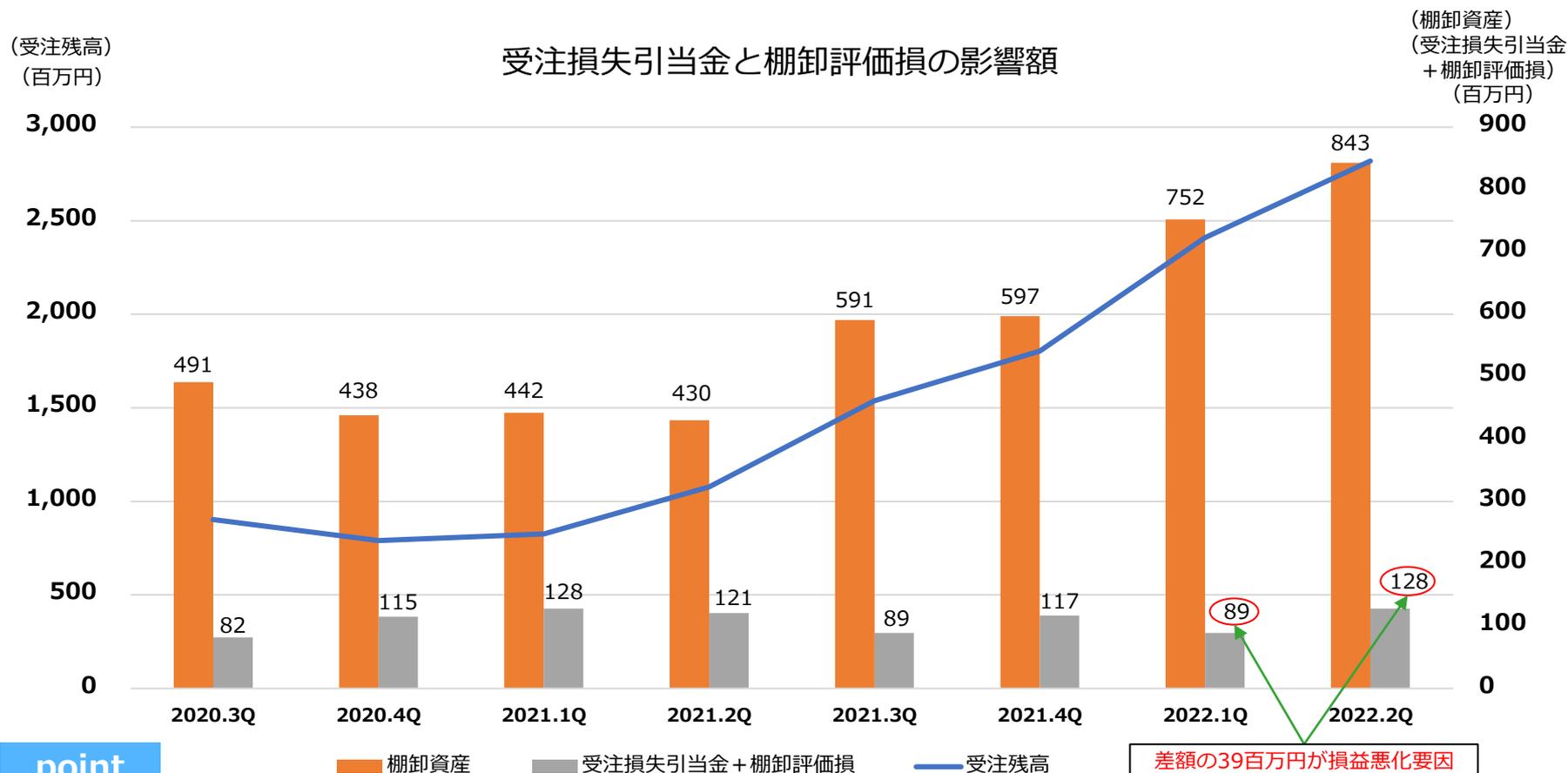
②損益面は売上高増加等に伴い向上

- ・2Qは受注損失引当金等の増加あり損益やや減少
- ・当期純利益837百万円（対前年同期：184.3%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

受注損失引当金と棚卸評価損等の推移



- ✓ 第2四半期においては、受注損失引当金と棚卸評価損により39百万円が損益悪化要因となっております。
- ✓ 受注損失引当金および、棚卸資産評価損は、未検収の受注残に対し、個別の製品ごとに過去の実績や追加発生原価の見積もりから損失が見込まれるものを抽出して算出します。他案件と損益通算しない事から、受注残増加に伴い増加する可能性が高くなります。また、工場稼働率が低くなると時間当たりの単価が上昇する事から増加しやすくなります。

※受注損失引当金と棚卸評価損に関連する「仕掛品の評価および受注損失引当金の見積もり」は、前期の「監査上の主要な検討事項」(KAM)に選定されています。

1. 決算概要

B/S分析

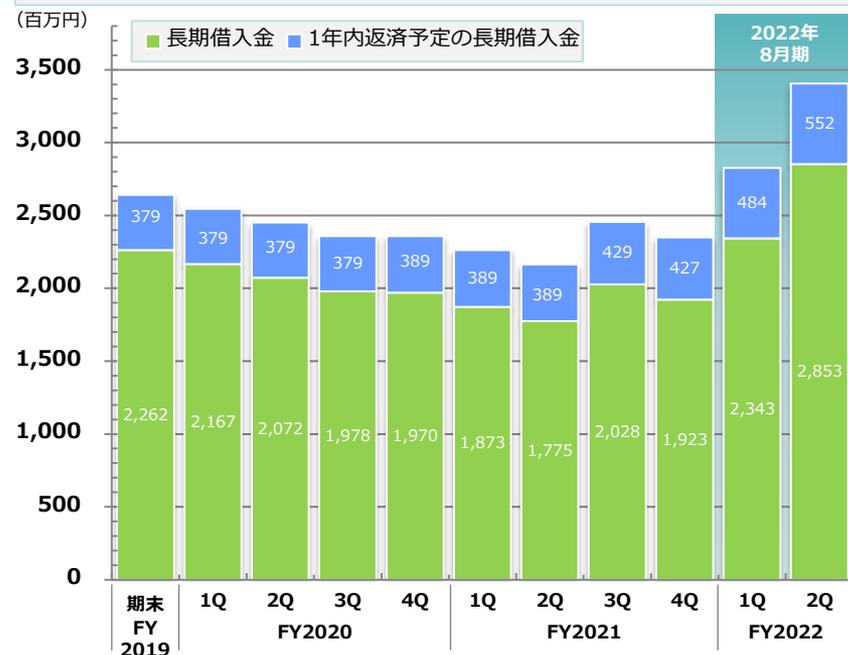
B/S

	2021年8月期 会計年度末 (百万円)	2022年8月期 第2四半期末 (百万円)
流動資産	4,813	6,354
現金及び預金	2,505	3,030
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,685	2,451
棚卸資産	597	843
固定資産	4,929	5,473
建物・土地	2,358	2,396
機械及び装置	2,273	2,680
流動負債	1,452	1,913
有利子負債(短期)※	427	552
固定負債	1,963	2,912
長期借入金	1,923	2,853
負債合計	3,415	4,826
純資産合計	6,327	7,001
総資産	9,742	11,827

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

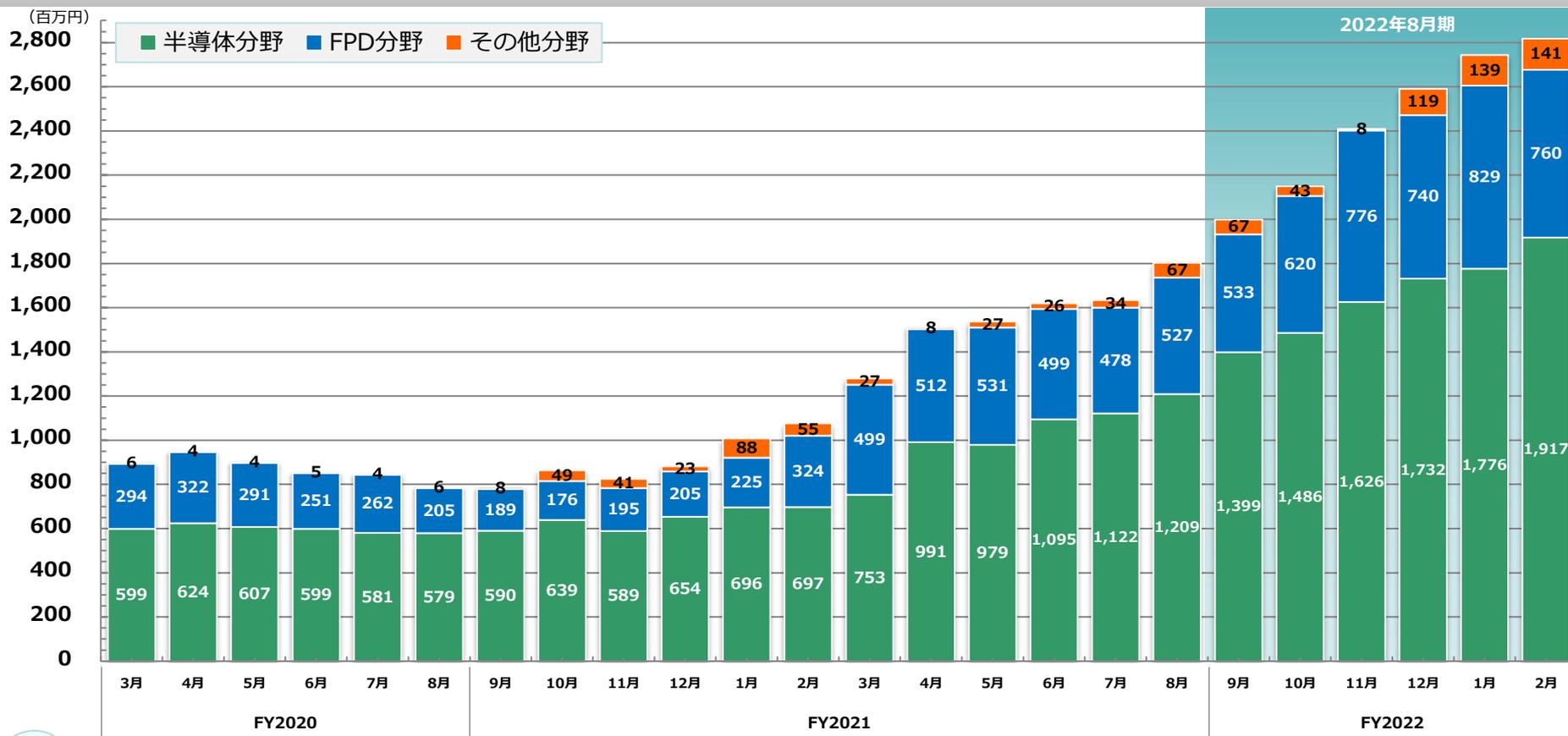
Point

- ① **資産：11,827百万円(前期末比:2,084百万円増加)**
 - ・売上債権：766百万円増加
 - ・現金及び預金：525百万円増加
- ② **負債：4,826百万円(前期末比:1,410百万円増加)**
 - ・長期借入金：930百万円増加
(設備投資に備えた資金調達実施)
 - ・未払法人税等：170百万円増加
- ③ **純資産：7,001百万円(前期末比:674百万円増加)**
 - ・利益剰余金：658百万円増加
 - ・自己資本比率：64.9%→59.2%



2. 事業環境

月次受注残高の推移



- Point**
- 半導体分野：市場好調で、既存・新規顧客ともに受注増加 生産拡大も受注超過続く
 - F P D分野：G6 OLED（有機EL）に加えG8 OLED（有機EL）の試作受注開始 シェア拡大も受注に貢献
 - その他分野：太陽電池製造装置向け受注拡大

※受注には長短のリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと受注残は多くなり、LTが短い案件が多いと受注残は低く表れます。
 ※2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、当月末受注残高には8百万円の有償受給材分が含まれております。

2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ 顧客メーカーで部材不足発生も、当社受注の好調さ続く
- ◆ メモリ拡大傾向があり、特にエッチャー向けで能増投資要望増
- ◆ 当社キャパ不足解消へ、設備投資と人材採用継続

FPD分野

- ◆ G6 OLEDは順調で液晶は停滞 G8試作の動き拡大
- ◆ 中小型パネルはG4～5サイズもあり多様化
- ◆ シェア拡大で生産能力ひっ迫 設備投資で対応

その他分野

- ◆ 太陽電池向け拡大傾向
- ◆ 複数案件受注見込みも生産ひっ迫
- ◆ 一部外注化と追加設備投資で対応

3. 2022年8月期の業績予想

当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

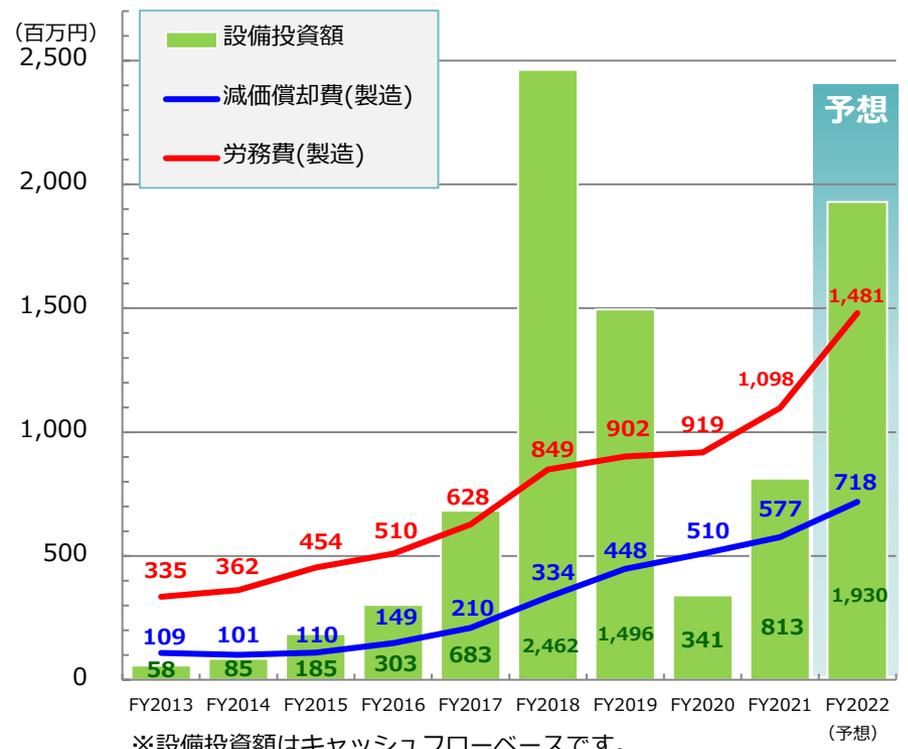
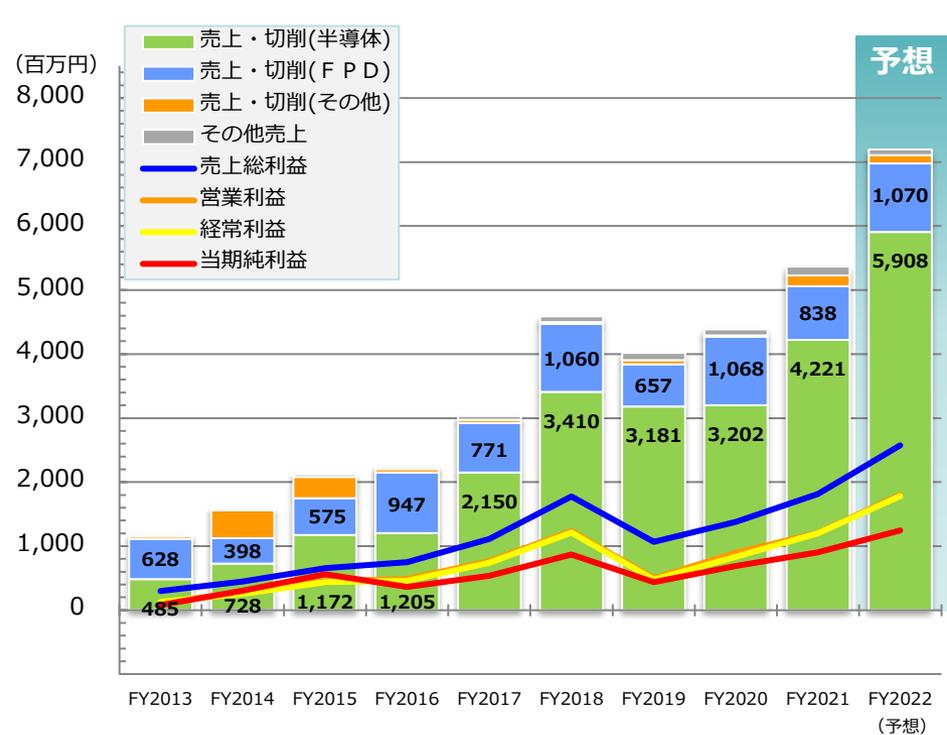
業績
予想

2022年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	7,200	1,800	1,780	1,245	97.30

上期は増額修正も、通期見通しは不確定多く現時点では据え置き

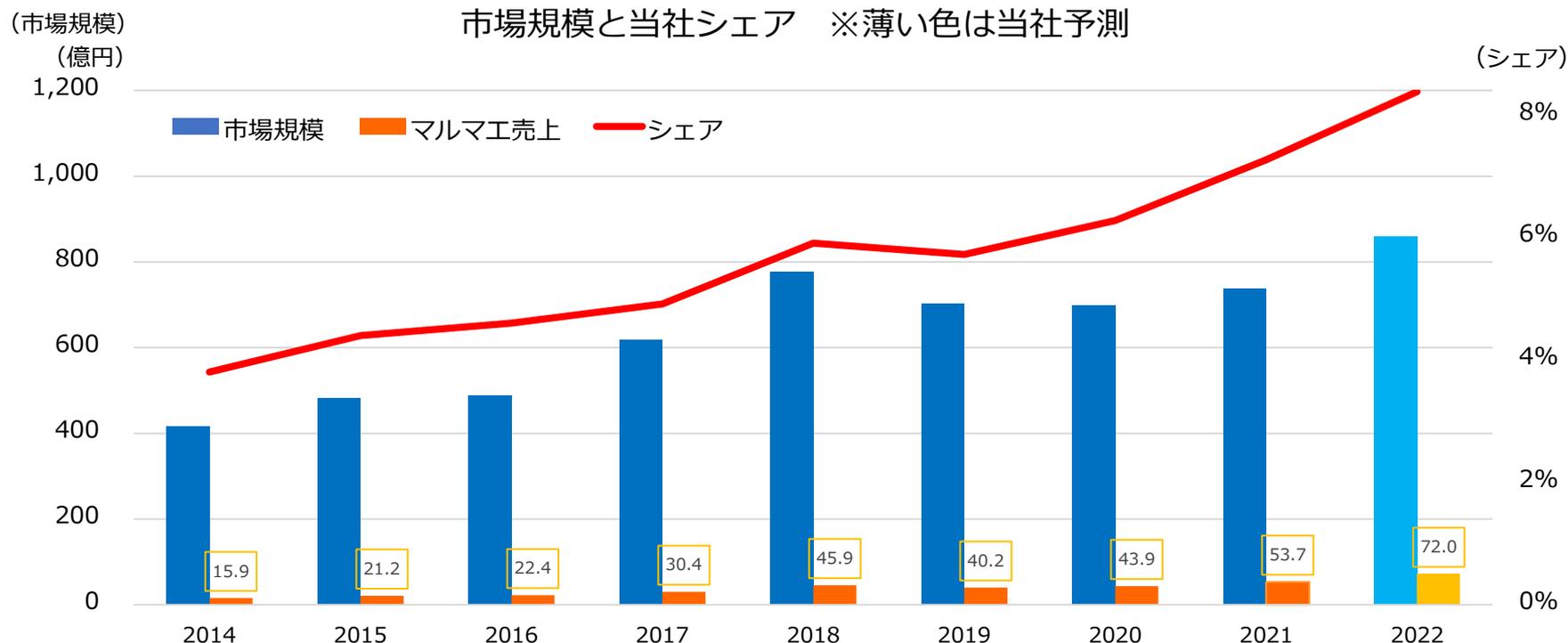
Point

- ✓ 売上高・利益共に過去最高更新見込み
- ✓ 市場シェア拡大目指し積極投資と採用増加（採用増と労働分配率も向上）
- ✓ 月産9億円（半導体7.2億、FPD1.8億）の生産力へ設備投資増額（22年末目標）



4. 中期事業計画「Innovation2022」

当社の属する市場とシェア推移



成長性

- ✓ 当社の属する市場は、半導体もFPDも共に好調であった2018年に直近の最高値を記録しました。その後はFPD分野で落ち込みが続いていますが、半導体分野が大きく伸張していることで、市場全体も過去最高規模となる見込みです。
- ✓ 同業他社との競合が激しくなっておりますが、当社は生産能力増強によってシェア拡大を続けております。

- ・本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・2021のデータの一部（情報更新遅れ5社）、および2022年のデータは、決算月や各社の受注内容からの当社予測値が含まれます。

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

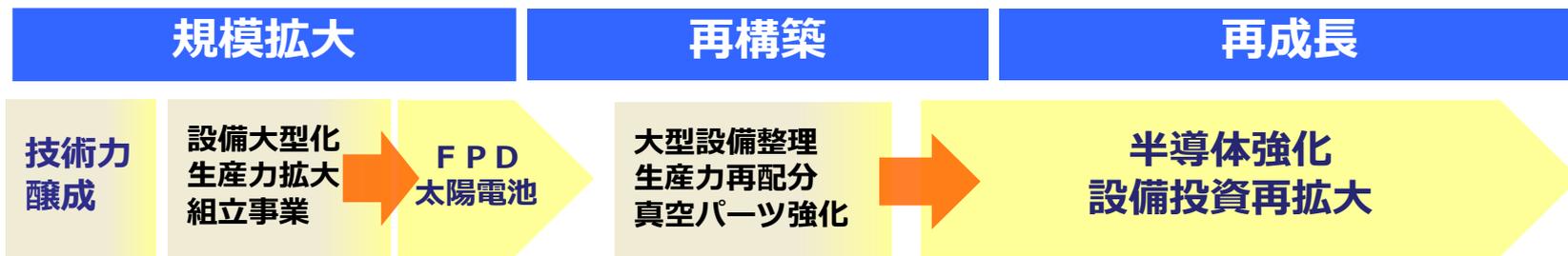
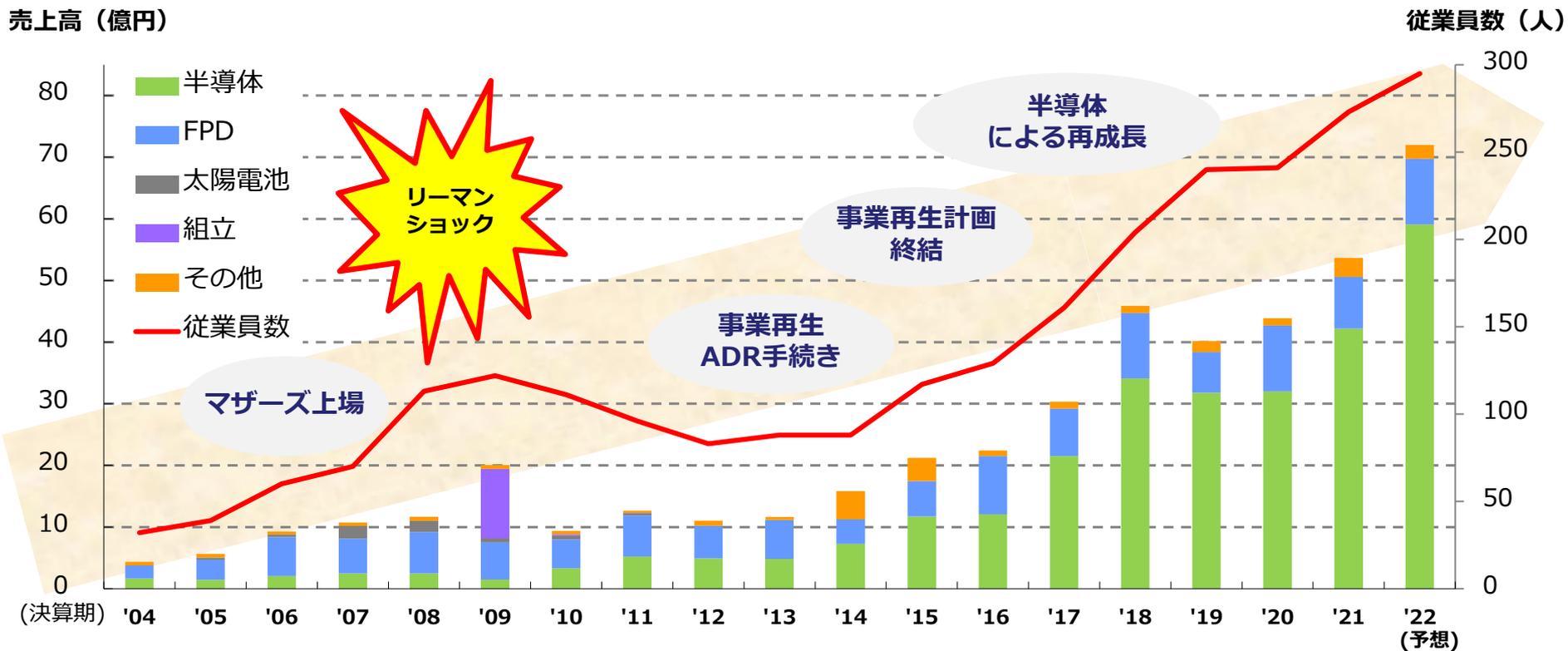


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



参考資料（現在の事業内容）

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
枚葉洗浄
アッシング
ウエハーボンディング
イオン注入
アニール

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）	発行済株式総数	13,053,000株
設立	1988年10月	単元株式数	100株
資本金	12億4,115万円（2022年2月28日現在）	株主総数	9,873名
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役（監査等委員）宮川 博次	大株主 （普通株式）	前田 俊一 4,821,815株 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 992,300株 前田 美佐子 504,000株 MSCO CUSTOMER SECURITIES 415,059株 川本 忠男 193,400株 前田 良子 180,000株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATI ONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25 176,025株 五十嵐 光栄 168,000株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019 160,700株 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 130,500株 (注) 自己株式が244,624株あります。 (2022年2月28日現在)
従業員数	295名 うち 臨時雇用者等 138名（2022年2月28日現在） 他 派遣社員70名		
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸 		
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		